



さくほ 議会だより



梅



八千穂小学校卒業式
輝け、ここから始まる君らの未来

3月定例会のあらまし	2P
平成25年度 当初予算	3P
一般質問（5人が町政を質す）	4P～
総括質疑	6P～
3月補正予算・臨時議会	8P
一部事務組合 議会報告・町内合同視察	9P
委員会活動から	10P～
しらかば	12P

平成25年4月16日

第32号

発行：佐久穂町議会
議長 今井邦三
編集：議会広報編集調査特別委員会
印刷：(有)東城印刷佐久穂工場
〒384-0697
長野県南佐久郡佐久穂町
大字高野町569
TEL 0267-86-2525
FAX 0267-86-4935

平成25年

3月定例会

定例会のあらまし・町の動きなど

例年にならない厳しい寒さと大雪の冬を越え、ようやく暖かい日射しを感じる折、第3回定例会が3月5日から14日まで開催されました。東日本大震災から2年、未だに収束しない原発事故、進まぬ被害補償。被災者の心情は如何ばかりか。3月11日を決して風化させてはならない…。

さて、定例会ですが、初日の招集あいさつで町長は、平成25年度一般会計の予算編成について、「選択と集中を継続する予算」とし、政策的な予算を可能な限り除外した「骨格予算」として編成したと述べました。

当初予算の規模は総額92億4,500万円。新町発足後最大と「議会だより」に書いた、昨年の予算を7億円近く上回る大型予算です。これは言うまでもなく、昨年度からの統合小中学校建設の事業費の計上によるものです。国の予算編成は、昨年と

同様に通常収支分と東日本大震災分と、2本立てで編成されています。

通常収支においては、2つのポイントがあります。1点目は、地方公務員給与を8,504億円削減すること。

2点目は、防災・減災事業と地域の活性化等の緊急課題への対応です。

給与削減に見合った事業費を、防災・減災や地域活性化への財源にするということです。

一般会計における新年度の主要施策

統合小中学校建設と併せ、1つは、昨年度に続く子ども支援の拡充、保育園の乳児室へのエアコンの設置、小中連携推進教師の増員、高校・大学生への奨学金基金の増額。

2つは、高齢者対策、人間ドック受診者増のため、40歳、45歳、50歳の節目の年齢者に無料クーポン券の配布。

その他昨年度からの継続

事業として、農業担い手育成支援「匠の技」や地産地消推進、「フニナヤくほ」による特産品の開発と、情報発信による地域振興に取り組みます。

地域医療をめぐる動きなど 千曲病院では、4月より新たに外科・総合診療科の医師を迎え、診療体制の充実をはかります。

佐久総合病院が中込原に建設中の高度専門医療・救命救急センターが来年3月に開設されることに伴い、佐久圏域の医療体制が大きく変わろうとしています。

今までに佐久総合病院が担ってきた亜急性期から、慢性期の患者さんに対し、地域の医療機関の役割分担が求められています。

そうした動きのなか、千曲病院として、リハビリ棟の増築、健康管理棟の改築などが新年度の事業として計画されています。

町から病院への繰出金の増額を行い、経営改善への支援を強化します。

条例

第3回定例会に提案された条例案は15件。

主な条例案について

高齢者福祉センター「ふるさと」条例の制定

独立して生活すること不安のある高齢者支援のための人居施設「ふるさと」の運営や、利用料について定めるもの。

老人保健施設条例の改正

介護施設等における食費について、一食ごとに料金を定めるもの。

地域密着型サービス事業の運営等に関する条例の制定 介護保険法に定めるサービスの基準などを、町の条例に定める必要が生じたため。

町立学校設置条例の改正

統合小中学校の名称を、佐久穂町立佐久穂小学校・佐久穂町立佐久穂中学校と定めるもの。

町道路線の廃止及び認定

道路台帳を整備し、不要

となった道路を廃止し、現用道路の登録をするもの。

補正予算

平成24年度一般会計と、国保会計7つの特別会計の補正予算。

一般会計補正予算の主な内容は、都市再生整備事業補助金を利用して、町内各地の道路改良を行う事業、国保会計への貸付金の増額、宅地造成会計への貸付金、そして年度内事業の完了による精算などです。

特別会計の補正は、年度内事業の完了による精算が主な内容です。

国保会計は、医療費の伸びにより不足を生じたため、一般会計からの借入金（一般会計から見れば貸付金）を増額し、収支均衡をはかりました。



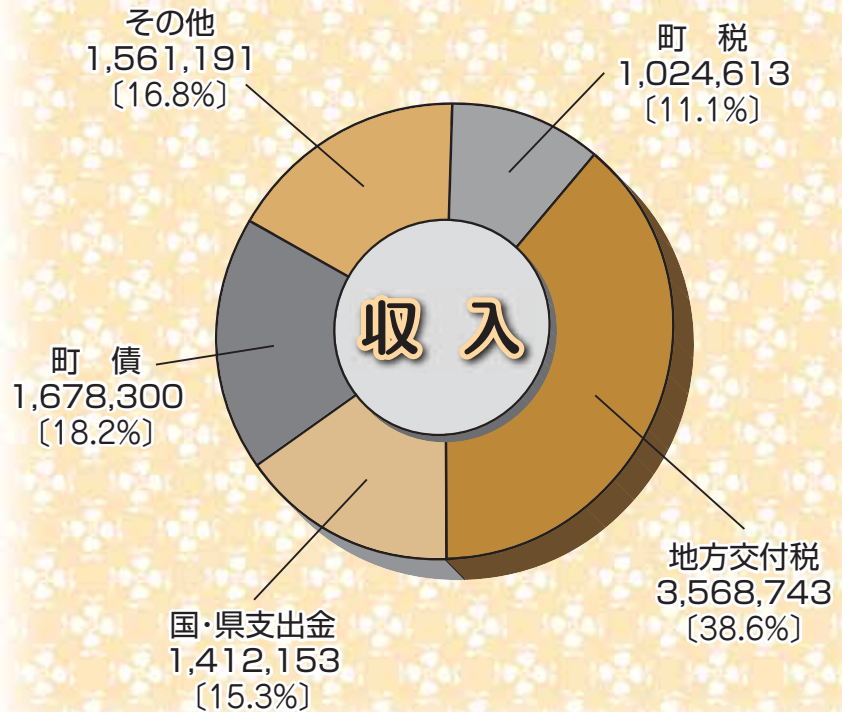
3月定例会

平成25年度 当初予算

一般会計予算	92億4,500万円
特別会計予算(9)	37億3,844万円3千円
病院事業会計予算	16億 529万円9千円

(単位：千円)

収入・支出 92億4,500万円



平成25年度一般会計、当初予算は次の通りです。

一般会計は

収入・支出額ともに、最高額の92億4,500万円、前年度比8・13%増額。

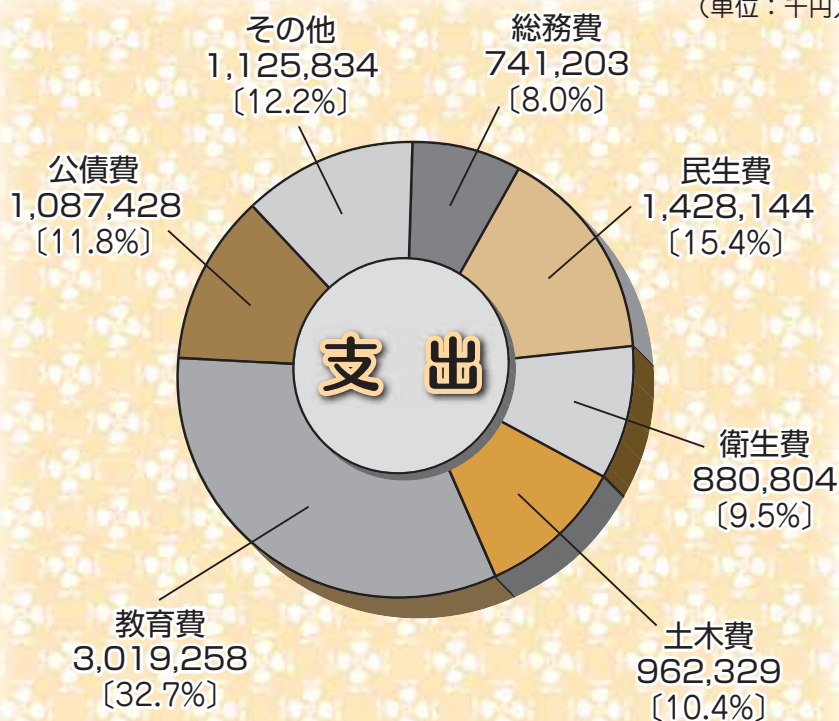
収入では

国庫支出金の増額及び、基金繰入金の割合が増えています。

支出では

統合小中学校建設にともない、教育総務費が突出しています。

(単位：千円)



92億4,500万円
収入・支出総額

震災復興に地方公務員給与も削減するか

町長

防災・地域経済の活性化には必要だと思います

井出清嗣



会への参加のため、練習が始まる。消防技術の習得という範囲を超えて行われる訓練は、改善が必要では。

必要な改善を行います。

高齢者が元気で暮らせるために

問 復興財源捻出のため、国家公務員給与を、7.8%引き下げる、地方公務員も引き下げ要求をしているが、受け入れるべきでない。

町長 ポンプ操法大会は、訓練成果の発表と消防技術の向上が目的です。日ごろの訓練は、本来の目的の範囲内で適切に実施されています。今後実態を把握し、

問 敬老事業に参加しない方にお祝いの品物を贈る。介護保険を利用していない方に入浴券など、報償を贈ってはどうか。

町長 敬老事業は、地区で開催され1,322名の参加がありました。また健康教室などの事業を活用し、生涯現役でいてほしいです。

町長 町職員の給与引き下げ、定数削減は実施してきました。国の給与改定により町の給与は4%高くなりました。今回の引き下げ要請は必要な施策と認識し、実施したいと考えています。

ポンプ操法訓練の改善を

問 消防団のポンプ操法大



ポンプ操法大会の様子

健康福祉課長 介護保険を利用されるほかに、ヘルスアップ教室など介護予防事業が、本人と家族の幸せになると考えています。

白石荘継続要望への考えは

優れた経営能力、強い意欲のある方がいれば継続していきたいと考えています

町長

高見澤 春 野



白石荘の今後は

問 継続の要望、地元からの陳情に対する町の考えは。

町長 優れた経営能力、強い意欲と情熱を持つ方がいれば、継続していきたいと考えています。

問 宿泊施設を縮小し、日帰りコースにすること、指定管理料を引き上げることが検討されたのか。

町長 収益が上がるのは宴会と宿泊です。日帰り入浴では経費（燃料代）がかかりすぎて、好転は望めません。

指定管理料引き上げは、要望があれば検討も可能です。

問 古谷溪谷の周辺整備と合わせた、再生プロジェクトの考えは。

町長 乙女の森バンガロー村には、長期滞在宿泊施設として考えられます。資源と人を最大限に生かすことが、再生の第一歩です。

消防団活動について

問 有事の際、出動可能人数が「0」に近いところがある実態把握はされているのか。

町長 昼間の動員力は小さいです。分団単位となるので影響はありません。

問 機能別消防団員制度導入の現状と今後は。

町長 現在23人の活動です。平常時は、訓練はありません。今後は班の再編成と協力が必要となってきます。



経営再開が待たれる白石荘

山間地集落内の除雪 業者に依頼できないか

町長 現行どおり地域の皆さんに
お願いします

岡 部 学



問 高齢化がすすむなか、山間地域の除雪について、家屋の連たんしている集落内でも、業者に依頼することはできないか。

町長 今後、広域農道や川上佐久線の旧道部分が町へ移管され、除雪路線が増加した場合、現在の業者数ではやり切れません。地域に貸与しているリアグレーダーなどで、除雪していただきたいと思っています。

地域生活センターの耐震対策等は

問 地域の生活センターを災害時の避難場所として、安心して利用できるよう耐震補強を、国の「防災・安全交付金」を利用し、進めていく考えは。

町長 創設された「防災・安全交付金」の情報が入り次第、検討していきたいと思っています。

問 地域には、救急車や消防車の通れない道路、見通しの悪い箇所が残されている。国の

補助制度を活用し改善をすめられないか。

町長 道路改良事業については、各区からの要望に基づき、緊急性・費用対効果等勘案しながら順次実施していく考えです。

国保税の負担軽減は

問 国保税の引き下げを町に望む声が多い。一般会計からの繰り入れは検討されたか。

町長 検診の未受診者対策などで効果が現れ、加入者に一定の負担をしていた上で不足が生ずれば、繰り入れを検討します。



町内幹線道路の除雪

町内危険箇所の安全対策は

町長 緊急防災・減災事業として6ヶ所
橋梁修繕6ヶ所を計画

岡 部 勝 一



問 危険箇所が数多くあるが、安全対策について。

町長 平成24年度は、6ヶ所で緊急防災・減災事業を計画し、進行中です。

問 橋梁補修・修繕は。

町長 平成25年度で、6橋の修繕を計画。今後、5年間で25橋を計画。

問 北沢川の、中部横断自動車道の貯水池までの、改修計画と降雨対策は。

町長 一般認可区間が進行中なので、次期事務にはま

だ入れない。新年度で事業継続を県に要望したい。増水対策は、3ヶ所に分散し、排水されます。

問 千曲川への増水で、ダム等の整備が必要では。

町長 護岸整備等に対応し、常時要望している。

問 主要地方道川上佐久線の安全管理について。

町長 統合小中学校の通学路でもありますので、教育委員会と協議し、防犯上安全対策を取ります。

問 町債の返却について。

町長 町村合併後は元金均等償還とし、繰り上げ償還を行っています。

問 さらなる自主財源が必要と考えるが。

町長 町税等の収納率向上や、新たな財源確保、また職員の創意と工夫により、各種事業を推進したい。

問 平成25年度入学の統合小中学校、中学一年生への制服購入費の助成は考えられないか。

教育長 統合学校制服等検討委員会で制服選定し、購入は保護者負担とし、助成は考えていません。



増水対策事業

一般質問

空き家条例制定の考えは

町長 他町村の状況、事例等勘案し 慎重に検討します

井出 和廣



会資本整備総合交付金事業と、都市再生整備計画交付金事業を導入して5年間で修繕いたします。

人、農地プランについて

問 農地集積協力金制度の活用は出来ないか。

問 空き家条例制定を、早急に検討すべきと考えるが、

総務課長 関係各課と協議を重ね、他町村の事例等も勘案し、個人財産にもかかわる問題でもありますので、

問 老人保健施設「さやか」の経営計画、経営改善計画はあるのか。

町長 安定した経営維持をしていくには、稼働率の向上が重要な要件であります。それには、質の高い介護サービスの提供が必要であります。看護・介護職員の意識改革と、人材育成につとめます。

橋梁、道路の修繕計画は

問 橋梁、道路の長寿命化修繕計画は、計画通り実施可能か。

町長 優先順位の高い25橋について、65%補助率の社



条例により空き家の安全管理を

老人保健施設の今後の運営は

町長 平成25年度から本格的な取り組みを計画しています。この事業には厳しい条件がありますが、意欲的な農家へ農地集積を図り、人と農地の問題解決に向け取り組めます。

総

括

質

疑

問 町道廃止・認定の基準について。

井出清嗣 議員

答 道路法により、不要になった場合は廃止できません。認定は、市町村長が路線を定め、議会の議決を経ることになっています。

問 4階級に分けた町道路線の規格内容は。

答 1・2級は、国土交通省の選定基準。3級・その他の町道は、2級町道以上を補完する町道です。

問 本数延長の減少で、交付税の算定に影響は。

答 基準財政需要率に算入されており、単純に算出できません。

問 特別養護老人ホームの補助金が、土木費に入っている理由は。

答 国の指導で、基幹事業である道路事業と同じ土木費としました。

問 建物の、どの部分に補助をしたのか。

答 利用者負担の少ない、従来型に比重を置いた。

問 千曲病院の健康管理棟増築工事の目的は。

答 院長提案で、町民の高齢化に対応し、あと15年程度使用可能にするための大規模改修です。



岡部 学議員

問 国会で成立した、平成24年度補正予算では地方交付税が増額されているが、町の補正予算には計上されていない理由は。

答 3月1日付で約900万円が増額ですが、今議会補正に間に合いませんでした。



井出和廣 議員

問 千曲病院の特別損失額減少と、不能欠損処理の現状について。

答 保健収入未収金の、減額が確定した分だけ計上しました。公立病院の診療費等の債権については、民法が適用議会の議決が必要です。

問 佐口・小山水の危険箇所のかた設置の予算がないか。

答 当初予算が骨格予算であるため、6月の補正予算で予算計上する計画です。

高見澤春野 議員

問 長野子育て家庭優待パースポーツ事業の詳細は。

答 この事業は、平成25年度までの4年間で終了するため、平成26年から事業延長に当たり、パースポーツカード、ステッカー、ポスター等が県下一斉に発注されます。町内では、33店舗の事業者に協賛いただいています。

問 消防団120年。自治体消防65周年記念大会には、誰が参加するのか。

答 本部5名、団長以下7名の計12名を予定です。

問 教育費の報償金の内容は、どうなっているのか。

答 統合推進委員5名、校歌制作報償、校章作成報償です。なお、校歌制作には10割の合併市町村県交付金が充てられます。

岡部勝一 議員

問 町高齢者生活福祉センターふるさと条例のシステム改修と、利用料金改定の根拠と算定方法は。

答 管理人が不在になるので、昼間はデイサービスセンターで、夜間は包括支援センターで管理できるようにします。

利用料金は、佐久地域の生活保護受給者の一番多い例を参考にしています。AからFまでは、独居・2人入居・収入額等により算定してあります。

問 農業集落排水事業特別会計での、他会計繰入金の繰り入れ元はどこか。

答 簡易水道事業特別会計より、繰り出しています。人件費は、491件の調査に対して55件ですので、按分してあります。

問 農地費の東京電力への補償費支払いの説明を。

答 海瀬開田組合と穂積農地開拓組合の、水利使用料として、昭和49年9月5日に東京電力と契約し、現在に至っています。



閉会中の議員活動

12月～3月(主なもの)

- 12月
 - 佐久広域連合定例会
- 1月
 - 広報編集調査特別委員会
 - 新年賀詞交歓会
 - 消防団出初式
 - 経済福祉常任委員会スキー場視察
 - 長野県地方自治政策課題研修会
 - 南佐久郡町村議長会定例会
 - 千曲病院経営審議会
- 2月
 - 人権フェスティバルin佐久穂
 - 佐久平環境衛生組合議会定例会
 - 学校跡地施設等利用検討委員会
 - 佐久水道企業団議会定例会
 - 南佐久環境衛生組合議会定例会
 - 県町村議長会定期総会
 - 高速度対策協議会・女性もちの会合同視察
- 3月
 - 千曲病院経営審議会

平成25年度 補正予算

一般会計……………4,018万円増額

3月定例会での補正予算案は、一般会計1件、特別会計7件の合計8件でした。各補正予算に対して、慎重審議の結果、全員賛成で可決しました。

● 一般会計 ●

歳入歳出それぞれ、4,018万円の増額です。歳入の主な増額内容は、国庫支出金1,986万円、財産収入2,796万円、財政調整基金より4,000万円を繰り入れました。減額補正では、町債の合併特例事業債1,290万円、辺地対策事業債4,080万円であり、年度末事業精査によるものです。歳出で主なものは、土木費の中で、道路橋梁費1億8,275万円の増額であります。事業精査で民生費3,794万円、衛生費1,637万円、農林水産業費1,163万円、商工費1,638万円、消防費2,477万円の減額補正です。住宅地造成事業特別会計に貸付金2,650万円を増額し、老人保健施設特別会計への貸付金1,

300万円の減額が補正の主な内容です。

● 特別会計 ●

国民健康保険会計は、保険給付費が不足したため、一般会計から3,000万円の借入金を増額をいたしました。

住宅地造成会計は、造成地売払収入が無く、2,650万円の借入金です。農業集落排水会計は、上地区の工事が25年度に先送りのため4,918万円の減額です。介護会計、住宅改修資金等貸付金会計、老人保健施設会計、索道事業会計、後期高齢者医療会計の5会計は、事業精査及び給与の調整でした。



雁明団地

平成25年度 臨時議会

第1回臨時議会

平成25年1月18日に第1回臨時議会が開かれ、統合小中学校整備事業で、請負変更契約の締結についての案件であり、全員賛成で原案可決されました。

第2回臨時議会

平成25年1月22日に第2回臨時議会が開かれ、議案は2件でした。

一般会計は、民生費126万円、商工費300万円、土木費1,000万円の増額で、予備費から充当で、予算の増減はありませんでした。

索道事業会計補正は、燃料費が不足したための増額補正であり、2議案とも全員賛成で可決されました。

自治功労者表彰される

自治功労表彰

井出智人 議員

多年（15年以上在位）、議会議員として、地方自治の振興・発展のため、大きな役割を果たしていることが高く評価され、全国町村議会議長会より表彰されました。



誠におめでとございます。

一部事務組合 議会報告

佐久平環境

衛生組合

平成25年
第1回定例会

佐久広域

連合

平成24年
第4回定例会

一、規約変更

長野県公平委員会に東筑摩郡麻績村ほか7団体が加入するため。

二、平成24年度補正予算

事業の確定見込みによる補正。

三、平成25年度予算

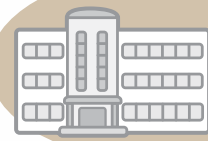
予算の総額は、2億7,782万9千円で、前年度比6,535万円の減です。

一、財産の無償譲渡

特養ホーム徳花苑の建物を社会福祉法人ハートフルケアたてしな設立発起人会に無償で譲渡するもの。

二、補正予算6件

一般会計及び特別会計5件、年間事業の精算です。提出された案件は、全議案原案可決となりました。



町内合同視察

3月13日午後、委員会合同視察が行われました。

今回は、建設中の統合小中学校の進捗状況の視察でした。

現在、中学校部分の建設が進んでおり、進捗率は約30%です。

一日130人を超える人数が、作業に携わっています。

す。

平成26年度に新中学校舎が使用開始されます。

なお、旧校舎は今年度中に解体される予定です。

活動から

総務文教常任委員会

統合小中学校建設事業 順調に進行

条例案4件

- 一、一般職の給与に関する
- 二、職員の特殊勤務手当て
- 三、消防団員の公務災害
- 四、町立学校設置

平成24年度一般会計 補正予算(補正第6号)

- 特別会計 補正3件
 - 一、国民健康保険
 - 二、住宅改修資金等貸付け
 - 三、後期高齢者医療



平成25年度一般会計 当初予算(骨格予算)

- 特別会計 予算3件
 - 一、国民健康保険
 - 二、住宅改修資金等貸付け
 - 三、後期高齢者医療

以上12件の案件につき、慎重審査の結果、全議案を全員賛成で可決しました。

主なものは、

平成24年度補正予算は、確定及び精査によるものでした。(収入)

総務・住民税務・子ども各課、教育委員会・議会では、実績、確定による精算の補正。(支出)

平成25年度予算 収入の主なもの

- 一、たばこ税の県・町の税率変更による増収。
前年比12.8%増。

- 二、財産収入
主要地方道川上佐久線の予定地売却による増収。

平成25年度予算 支出の主なもの

- 一、財産管理費の、外灯管理経費1,440万円(2,370基)。委員会で経費削減に向け、再点検をするべきとの意見が出されました。

- 二、学校設置条例の内容は、新統合小中学校の校名を決定し、校歌・校章を早期に作成するためです。

新学校名は、
佐久穂町立中学校
佐久穂町立小学校
となります。



委員会

経済福祉常任委員会

広域型特別養護老人ホーム

運営管理者 佐久平福祉会に決定

佐久穂町介護保険計画において、特別養護老人ホームの新設を予定し、整備運営事業者を公募していました。4法人の応募があり、審査の結果、社会福祉法人「佐久平福祉会」が事業者に選定されました。



特別養護老人ホーム建設予定地

●建設場所

千曲病院の南側水田地帯
8,316㎡

●町の補助

25年度 5,000万円
26年度以降 4,996万円
計 9,996万円

内 3,990万円は、
国からの交付金です。

●新築される特別養護老人ホームの概要

定員 70人
開設 平成26年度

リハビリテーション棟増築

千曲病院

佐久地域を取り巻く医療機関の変化に対応し、町民の視点にたった病院としていくため、健康管理棟の南側にリハビリテーション棟（2階建、567㎡）を増築し、リハビリテーションを充実します。

雁明ニュータウン 30%オフ売出し

長引く不況とデフレ基調で、地価も下がりました。雁明ニュータウンは住宅地の数区画を、およそ30%引き、1㎡当たり21千円〜24千円で売り出しています。



雁明ニュータウン売出し地

また、健康管理棟に診察室を設ける。

CR機の導入。
電子カルテシステムの導入を計画しています。

工事期間は、本年度から平成28年まで。工事費は、10億円を予定しています。



リハビリテーション棟増築場所

面倒見のいい貸し農園

力 武 文 雄



ジーバ共和国という国を御存知ですか？
いつどこにそんな国ができたかって？

ところで、皆さんの集落には稲刈りの時期、一人鎌を手にしざ架けに精を出す九十三才のお爺さんやマ

がいませんか？いるでしょう。皆さんの周囲に結構良く見かける元気なジーバの姿は都市生活の日常では「アリエナイ」

ジーバ共和国

は二〇一一年十

一月、姉妹都市

の府中市から中

学生のお嬢さん

とご両親の御一

家をお招きし、四

区の三石武夫さ

んと小須田武彌

さんのご指導で

管理機の操作や

大根、ネギの収

穫体験をさせて

いただいたのが

始まりです。

今では農家さ

んを中心に八名

の爺婆(ジーバ)

で構成。野菜収

穫、イモ掘り、

ブルーベリー、

ゴのジャム作り。

味噌作りや蕎麦

打ち、更に高原

散策等、自然や

里山での十三種もの体験を

提供。昨年は主に町外から

延べ百四十人の方に参加

いただきました。



レットゴルフの練習に朝の五時半から軽トラで出かける八十三才のお婆さん、こんなスーパー元気なジーバ

は収穫の喜びや健康の大切さといった人生の宝をジーバ共和国で発見することになるのです。

光景、思わずお話をしてみたくなる魅力を感じます。今、佐久穂町を年間約十五万人の観光客が訪れます。この人々と元気なジーバをつなぐ出会いの場、それがジーバ共和国なのです。ジーバ共和国では、この春から新たに「面倒見のいい貸し農園・おうちの畑」を始めました。利用者は野菜栽培を通じ町のジーバが持つ豊富な経験や知識機敏さ、ユーモアに魅了されるでしょう。人々

◆ 広報編集特別委員会 ◆

2年間の編集を終えて

平成23年6月定例会より新編集委員として「さくほ議会だより」の編集をしてきました。町の皆様に議会活動を（読みやすく、わかりやすく）をモットーに編集を心がけてきました。

全国町村議会の広報研修会に於いて、講師からは一面文字だけでは読んで頂けないので、写真・イラスト・スペースも取り、紙面づくりをと研修をし、2年間広報の編集をしてきました。町の皆様方から御意見や御指摘も頂き、又、しらかばに寄稿して頂いた皆様には、心より感謝いたします。

今号で私達の任期が終わりです。2年間御支援頂きましたことと厚く御礼申し上げます。

- 編集委員長 岡部 学
- 副編集委員長 小林 武
- 編集委員 高見澤 春野
- 編集委員 井出 和廣
- 編集委員 浅井 正昭
- 編集委員 岡部 勝一



編集後記

この「議会だより」が届く頃には、新しい議会が構成されていることでしょう。

年にたった4回発行の小さなメディアですが、町の動きや議会の内容を、客観的に伝えてきたと思います。しかし、至らぬことばかりで、改善していかねばならないことも沢山。これからの誌面づくりの工夫を、新たに選出される議員に託したいと思います。

発想を新たにして、これまでのパターンを打ち破った、新鮮な「議会だより」が発行されるのを楽しみにしています。町民の皆様には、今後とも「議会だより」の御愛読をお願いいたします。